

平成28年度県立高等学校との地産地消推進事業

～地産地消と食育への取り組み～

1 目的

市内小学校児童が本校農場において、本校生徒と共に作物栽培に取り組む。収穫した農産物を使い、本校生徒が小学校給食の献立を考案し、出来上がった給食と一緒に食べる。交流会を開催することで、児童・生徒（生産者）の相互理解を深め、食の安全と安心を実現し、地産地消の促進に取り組む。

2 主催

兵庫県学校給食・食育支援センター 兵庫県立播磨農業高等学校

3 開催日時

平成28年5月27日～11月14日

4 開催場所

加西市立北条東小学校（加西市北条町西高室 595-2）
兵庫県立播磨農業高等学校（加西市北条町東高室 1236-1）

5 参加者

小学校：2年生39名、職員3名
本校：農業経営科 作物・農業機械コース3年生2名・2年生4名・職員1名

6 学校給食食材提供

農業経営科 作物・農業機械コース「サツマイモ」
農業経営科 野菜コース「キュウリ」

7 サツマイモ栽培体験学習

児童が本校農場でサツマイモのつる挿しと芋掘りを行った。

(1) つる挿し体験



(2) 芋掘り体験



8 学校給食食材提供

日頃、生徒が授業で栽培している農産物（サツマイモ・キュウリ）を学校給食の食材として利用してもらった。

9 市内小学校の学校給食献立考案

本校農場において、北条東小学校2年生児童が収穫したサツマイモを使い、本校生徒が小学校給食の献立を考案した。



サツマイモサラダ



サツマイモスープ

10 学校給食食事会

出来上がった給食を見童と一緒に食べた。見童には、献立ができあがるまでの過程を話した。



11 食育交流会

(1) 食育授業

本校生徒6名がゲストティーチャーとして、子ども達に根菜類の特性、食の大切さを理解させ、農産物を作っている人や調理をしている人に感謝の気持ちをもつようプレゼンテーションを行った。



12 まとめ

地元小学校児童が、本校農場でサツマイモ栽培体験実習を行った。農作物の栽培をしたことがない児童がほとんどで、興味深く先生役の本校生徒の説明を聞きながら作業を行った。芋掘り体験では、たくさんのサツマイモを収穫してみんな大喜びだった。児童は、自分たちが収穫したサツマイモが学校給食の食材として利用され、食育交流会では本校生徒も一緒に食べた。児童は、農産物を作る大変さとすばらしさを実感し、周りの人たちへの感謝の気持ちを持ち、食べることの大切さを理解した。

本校生徒は、農産物の栽培について児童から頼りにされ、自分たちが考案した献立が小学校給食に採用されたことで自己認識力や自尊感情を高め、貴重な経験ができた。

今後も地域と連携しながら、地産地消の促進と食育の推進に取り組んでいきたい。